都道府県水産主務課 殿

農林水産省消費・安全局
畜水産安全管理課水産安全室

レッドマウス病の発生時の対応について

水産防疫について、常日頃より御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

持続的養殖生産確保法（平成11年法律第51号）で定める特定疾病であるレッドマウス病について、本日、滋賀県内の養鱒場のイワナ稚魚において、水産防疫対策要綱（平成28年7月1日付け消安第1412号農林水産省消費・安全局長通知）の病性鑑定指針に基づく検査の結果、陽性が確認されました。国内における発生は2例目となります。

各都道府県におかれましては、引き続き「国内におけるレッドマウス病の発生及び今後の防疫対応（平成27年3月10日付け26消安第6205号農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長通知）」において記載されている防疫措置の徹底について、下記のとおり改めてご協力をお願いいたします。

記

1 さけ・ます漁業・養殖業者等への周知徹底

都道府県は、さけ・ます漁業・養殖業者、種苗生産者等の関係者に対して、次の事項について速やかに周知徹底すること。

- (1) 本病の発生水温は、13℃以上（ただし、多くは18℃前後）で発生することが知られていることから、水温が上記の条件に該当する時期には魚の状態を特に注意すること。
- (2) 養殖魚の異常なへい死があった場合は、直ちに都道府県の水産担当者に検査を依頼するとともに、検査結果が出るまでの間は、養殖場外への魚の移動を自粛すること。

2 防疫措置の再確認

都道府県は、次の防疫措置を改めて徹底すること。

- (1) 都道府県は、さけ・ます漁業・養殖業者等に対し、衛生的な環境でのさけ・ますの生産を行うこと及び種苗生産において適切に卵消毒を行うなどの衛生管理措置を行うことを改めて指導すること。
- (2) さけ・ます漁業・養殖業者等から飼育中のさけ・ます類の異状の連絡があった場合は、レッドマウス病の感染の有無を確認すること。この結果、感染が確認された場合は、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室に速やかに連絡し、(国研)水産研究・教育機構水産技術研究所に確定診断を依頼すること。また、異状が確認さ

れた場合は、1の(2)と同様に検査結果がでるまでの間は、当該さけ・ます類の移動自粛を指導すること。

- (3) (2)の確認の結果、レッドマウス病の感染が確認された場合には、発生養殖場におけるまん延防止措置を行うこと。また、関係者に対して発生状況を周知し、まん延の防止に努めるとともに、管轄内での漁場及び養殖場の再点検を実施すること。

担当連絡先：農林水産省消費・安全局
畜水産安全管理課水産安全室
佐藤、高橋、野々下
E-mail suisan_boueki@maff.go.jp
TEL 03-6744-2105 (直通)
FAX 03-3501-2685